

謹賀 新年



医療法人社団 海仁 理事長
みどり台海谷眼科 院長
海谷 忠良

 あけまして
おめでとうございます

巳年である本年は、蛇の脱皮に象徴される「変革」と「再生」の年です。

昨年元旦に発生した能登半島地震から一年が経過しましたが、いまだに多くの被災者の方々が困難な状況に置かれています。一日も早い復興と被災地の再生を願っております。

昨年法人より義援金を送らせていただきましたが、今後も医療の分野からはもちろんのこと、あらゆる面から可能な限りの支援を続け、被災地の一日も早い復興に力を尽くしてまいります。

また、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞の受賞は、核兵器廃絶と平和への長年の取り組みが国際的に評価された喜ばしい出来事でした。

毎年のように年頭の挨拶で「世界の平和と幸せを祈る」と申しておりますが、今年はその思いをより一層強くしております。

被爆者の方々の平和への願いと決意を胸に刻み、医療に携わる者として、地域医療の発展に参画してまいります。



海仁グループの今後の取り組み

地域医療ネットワークの拡充

地域の大学病院、クリニックとの連携をより強化いたします。緑内障、白内障、斜視弱視、近視や角膜治療など専門性の高い高度な医療提供体制の構築に努めます。

超高齢社会への対応

超高齢社会における眼科医療の重要性を踏まえ、高齢者の方々が安心して医療サービスを受けられる体制を整備します。

- ① 医療機関へのアクセスが困難な地域にお住まいの高齢者の方々に対し、積極的な**往診サービス**を展開します。



- ② **老人保健施設との連携体制を強化**し、定期的な訪問診療と施設スタッフとの緊密な情報共有により、施設入所者の方々への専門的な眼科ケアを充実させます。この取り組みを通じ、患者様の生活全体を支える**包括的なケアを実現**し、高齢者の方々のQOL(※1)向上と快適な生活を支援します。

若年層の近視増加への対応

近年、若年層の近視増加が問題視されています。当グループでは近視進行抑制に重点を置き、専門的な治療法を提供することで、将来的な眼疾患リスクの軽減を図ります。

スポーツ眼科

競技者の視覚パフォーマンス向上を目指し、専門的な検査から治療器具の提案まで、包括的なサポート体制を確立します。

視覚リハビリの強化

海仁グループでは視覚障害者の支援に力を入れており、特にブラインドサッカーでは、ユニフォームに「海谷眼科」の名を冠した選手たちが活躍しています。(FCコレチーボ静岡)そのアスリートたちの情熱とエネルギーは多くの人々に勇気と「頑張ろう」という前向きな気持ちを与えてくれます。

今後も海谷眼科「視覚リハビリ室」を中心に、残存視機能を最大限に活かすためのサポートや生活支援の強化、スポーツや音楽などの各種イベントを通じたQOL(※1)向上への貢献を続けてまいります。

職員のスキルアップ

職員の接遇研修や勉強会の実施、部署間、グループ間交流を通じ、スキルアップと医療サービス向上に努めます。

みどり台海谷眼科の取り組み

私が院長を務めているみどり台海谷眼科では、和合地域の患者様を中心に受診しやすい体制を整備いたします。

昨年、緑内障専門外来のさらなる充実を図るため、閉塞隅角緑内障の早期発見や正確な診断が可能な眼の断層画像診断装置を導入しました。患者様により適切な診断を提供いたします。

手術が必要な患者様に対しては、海谷眼科と連携し、診断から手術、術後のケアまで、一貫した医療サービスを提供してまいります。

さらに、患者様のニーズにお応えするため、ドライアイ・眼アレルギー外来、小児近視外来(近視抑制治療)の開設を予定しております。





来年の傘寿を 目指して

さて、私事ではございますが、ここ数年、健康上の理由により、十分な業務遂行が叶わず、ご心配とご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

私たち医療従事者の使命は、患者様一人ひとりに最善の医療を提供し、より良い人生を送れるようサポートすることにあります。

本年79歳となりますが、来年の傘寿を目指して、医療法人社団海仁理事長、みどり台海谷眼科院長として、心身ともに新たな歩みを進めてまいります。



海谷眼科
院長 海谷 亮子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、パリオリンピック・パラリンピックでの日本選手団や大谷翔平選手の輝かしい活躍など、私たちに希望と感動を与えてくれる出来事が数多くありました。一方で、元日の能登半島地震や8月の南海トラフ地震臨時情報の発表など、自然災害への不安も経験した年でした。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、早期の復興を心よりお祈りいたします。

巳年は、蛇が脱皮して新たな姿に生まれ変わる姿から、医療、治療、再生のシンボルとも言われています。

YouTube 海谷眼科チャンネル
理事長「新年のご挨拶」等を公開中です



世界の調和と幸福を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



医療は常に進化しています。当院では日々進化し続ける医療に対応するため、最新の医学知識と臨床研究に基づいた質の高い医療を提供できるよう努めております。

例えば、オルソケラトロジーやマイオピン点眼での近視抑制治療、多焦点眼内レンズを用いた白内障手術、緑内障センターをはじめとした、角膜や網膜などの専門外来の充実など診療体制を整備し展開しています。

また、近隣の大学病院とのネットワークを拡充し、より充実した医療体制の構築に取り組んでまいります。

新しい取り組みとしましては、入院での手術が難しい患者様にもより安心して手術を受けて頂けるよう、1日入院制を導入いたしました。

そして本年1月からは初診WEB予約システムを導入し、より受診しやすい環境作りを行っていく予定です。

患者様第一の診療を提供できるよう職員一同尽力いたしますので、本年も変わらぬご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。



かけ川海谷眼科
院長 大城 三和子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は世界的な異常気象や自然災害が相次ぎ、能登半島地震や台風、大水害など多くの災害に見舞われました。また、夏の平均気温が過去最高を記録するなど、気候変動への懸念が一層深まった年でもありました。

2025年には後期高齢者が約2,200万人に達すると予測されており、労働力不足が懸念されております。医療業界への影響も大きく、通常の医療だけでなく、本当に医療が必要となる後期高齢者への十分な対応も困難となり、医療従事者の労働環境がさらに厳しくなると言われております。

4

当院では、こうした社会変化に適切に対応すべく、医師の働き方改革やデジタルトランスフォーメーション(※2)を積極的に推進し、WEB予約システムの導入(※3)やマイナンバーカードの健康保険証利用(※4)の普及を着実に進めています。

巳年である本年は「成長と変革」の年です。最先端の白内障手術や高性能眼内レンズの活用を推進し、ぶどう膜炎や網膜硝子体疾患などの専門分野における最新治療の、さらなる充実を図ってまいります。また、患者様が安心して治療を受けられるよう、医療情報をわかりやすくご提供し利便性を高めてまいります。

職員一同、海仁の理念(※5)に基づき日々精進してまいります。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

※2 デジタル技術による変革のこと。

※3 昨年2月導入。

これまで約400名にご利用いただきました。

※4 年間7,200名以上の方にご利用開始いただきました。

※5 患者様を主体に、海仁の心をもって、患者様のQOV(視力の質)を高め、QOL(人生の質)の向上に貢献する



発行元

医療法人社団 海仁

海谷眼科

浜松市中央区助信町20-40

予約専用TEL:053-476-3855

WEB予約



みどり台海谷眼科

浜松市中央区和合町154-36

予約専用TEL:053-476-8814

WEB予約



かけ川海谷眼科

静岡県掛川市中宿27

予約専用TEL:0537-23-1669

WEB予約



WEB予約は当院の受診が初めての方(初診)、初診の方でコンタクトレンズ希望の方、学校検診後で当院に受診したことのある方(再診)がご利用いただけます。詳細はWEB予約サイトをご確認ください。